



●○タイ出張報告○●

東京支店の高橋です。
 今回、自動車メーカーのSUBARUの“FORESTER”日本向けCKD輸送(Complete Knock Down)の本出荷前最終打ち合わせの為、2年ぶりのタイ出張へ行ってきました。
 北米向けに関しては自動車のCKD輸送に関わる事は多々ありますが、タイからのCKD輸送は私にとって初めての経験となりました。
 協力会社様のネットワークの協力を得ながら北米に関係しない部分の輸送においても品質を求められる輸送構築をする事ができました。



【同じ時期にタイ出張をしていた名古屋本社久瀬(左)、高橋(右)】



【タイの三輪タクシー トウトウク】

我々ジャパントラストは日本発北米向けだけではなく、今回私が出張したタイ発北米ならびに東南アジア発アメリカ向けFCLサービスも得意としております。
 自社拠点は北米3拠点(LA、CHICAGO、NYC)ありますが、北米以外に関しては弊社のパートナーが各国に2~3社ずつあります。
 創業時からの長年契約、そして定期的に現地訪問をし続けて築いた信頼をおけるパートナーとなっております。
 現地の船会社とローカル同士で交渉する為、運賃の競争力、そしてスペース確保力は自信をもってご提供できる体制です。
 日本発北米FCLだけではなく三国間FCL案件のお問い合わせ、ブッキングのご依頼もお待ちしております。

情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



海運豆知識 ~RORO船(在来船)：1時間に120台を積み込む驚異の荷役速度~

海上輸送する上でコンテナ船、在来船、タンカー船等色々ある中で今回はRORO船(在来船)についてお話しさせていただきます。

RORO船(在来船)とは、特定の貨物をより効率的に輸送することを目的に開発された様々な専用船の中でも、多くの点で个性的な特徴を持つ船種となり、その中で一番ユニークな点は「走る貨物」である自動車の特徴を生かした独特の荷役方式となります。
 専門のドライバーが、貨物である車を船内の積み付け位置まで直接運転して積み込むため、クレーンなどの荷役装置を必要とせず、しかもスピーディーに限られた停泊期間の間に積み込みをします。
 かつて一般貨物船にクレーン積みしていた時代の荷役では、1基のクレーンで1時間に15~6台というペースでしたが、現在の荷役方式では、20名前後の荷役チームで1時間に約120台という驚異的な荷役速度を実現しております。
 まさに革命的ともいえる効率化とスピードアップをもたらしました。
 日本の自動車工業の生産額は、全製造業中の1割、機械工業中の3割を占め、日本経済を支える基幹産業として重要な役割を果たしております。
 RORO船(在来船)は、海外への輸出活動を支え、日本国内の生産基地と海外の市場を直結する、いわば海のベルトコンベアとも言えます。



我々ジャパントラストにおいても日米間のコンテナ輸送に加え、全世界のオーバーゲージ貨物の取り扱いが非常に多い中で今回ご案内したRORO船(在来船)の取扱いもしております。
 コンテナ船で運べないサイズの機械、在来船だと貨物重量とリードタイムに不安という方、是非ジャパントラストへまずは相談をして頂ければ弊社営業マンがオーダーメイドの輸送提案を致します。

ジャパトラダービー in太平洋(北中南米航路)

弊社6月度の北中南米航路 コンテナ本数取り扱い
 第1位のジャパントラスト社員営業マンは

日比野 弘嗣

ご担当させていただいておりますお客様、
 ブッキングありがとうございました。
 今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。



【ジャパトラマン】

